



## 病院で処方された認知症の 治療薬について教えてください。

アルツハイマー病に対しては、アセチルコリン伝達を改善する薬剤、塩酸ドネペジル(アリセプト)が使われます。  
これは病気の進行を緩やかにするものであり、根本的な治療ではありません。

2011年春からは、アリセプトに加えて、3種類のアルツハイマー病治療薬が病院で処方できるようになりました。リバスチグミンとガランタミンはアリセプトと同様、アセチルコリン伝達を改善する薬剤ですが、リバスチグミンは貼付剤なので、吐き気や下痢などが少なく、ガランタミンは、アリセプトとは別の作用も持っており、アリセプトが効かない人にも有効とされます。一方、メマンチンはこれらとは作用が異なり、アリセプトとの併用も可能です。

### 認知症の治療薬の一覧表

商品名	アリセプト	レミニール	リバスタッチ イクセロン	メモリー
一般名	ドネペジル	ガランタミン	リバスチグミン	メマンチン
薬効	認知症の中核症状の進行を遅らせる			
主な副作用	抑うつや無関心にも効果	神経伝達物質の分泌を促進	貼付薬のため、コンプライアンスがよい	興奮や攻撃性に効果
適応	軽度～高度	軽度・中等度		中等度・高度
剤型	錠剤、OD錠、細粒、ゼリー錠	錠剤、OD錠、液剤	貼付薬	錠剤

\*OD錠:水なしでも飲めるように、口の中で溶けるようになっている剤型



\*同じ治療薬でも有効成分の含有量によって、色や形が異なります。